

七 月 號 豫 告

工 事 飛 行 寫 眞 特 輯

工事畫報は七月號を工事飛行寫眞特輯號とします。從來地上でばかり眺めてゐた工事を、大空から見下さうと云ふのです。

此の計畫の爲に、四月から五月にかけて我社特約のサルムソン號が、復興帝都の上空を飛翔して、復興局にも新聞社にもない、最も新しい帝都の寫眞を撮影しました。

内容は、復興帝都の鳥瞰寫眞

丸ノ内方面・銀座方面・江戸橋方面・隅田川筋・駿河臺方面・本郷帝大方面・等。

河川港灣の工作物研究の爲の飛行寫眞。

其他歐米の都市港灣工事鳥瞰寫眞。

此中には佛蘭西港灣の飛行寫眞、ニューヨーク市の鳥瞰寫眞等珍しいものが多数あります

飛行寫眞判讀法

一枚の寫眞から土地の高低性質、森林の種類及地上に築設されたる諸物體を、如何にして判別するか、その寫眞を精密なる平面圖とするにはどうすればよいか、此等の説明を寫眞と圖面とに依つて解説されます

寫眞の種類も風景的なもの、鳥瞰的なもの又は平面測量的な垂直寫眞等、何れも高度千五百米内外で撮影したものですから寫眞原板は五千分一位の地圖と同型で然も橋梁河川道路建物等實物を見る如く明瞭に指摘されます。帝大上空からの垂直寫眞の如きは、鮮明度に於て専門家の嘆賞を博したものであります。

工學博士 古川阪次郎氏

工學博士 那波光雄氏

東大教授 井上 範氏

工學博士 眞田秀吉氏

工學博士 田中 豊氏

東京發電會社 大島滿一氏

東大助教授 關 信雄氏。

その他

各先輩諸氏は、本誌の此の企てに賛成せられ、資料その他に就て最善の指導を與へられて居ります。